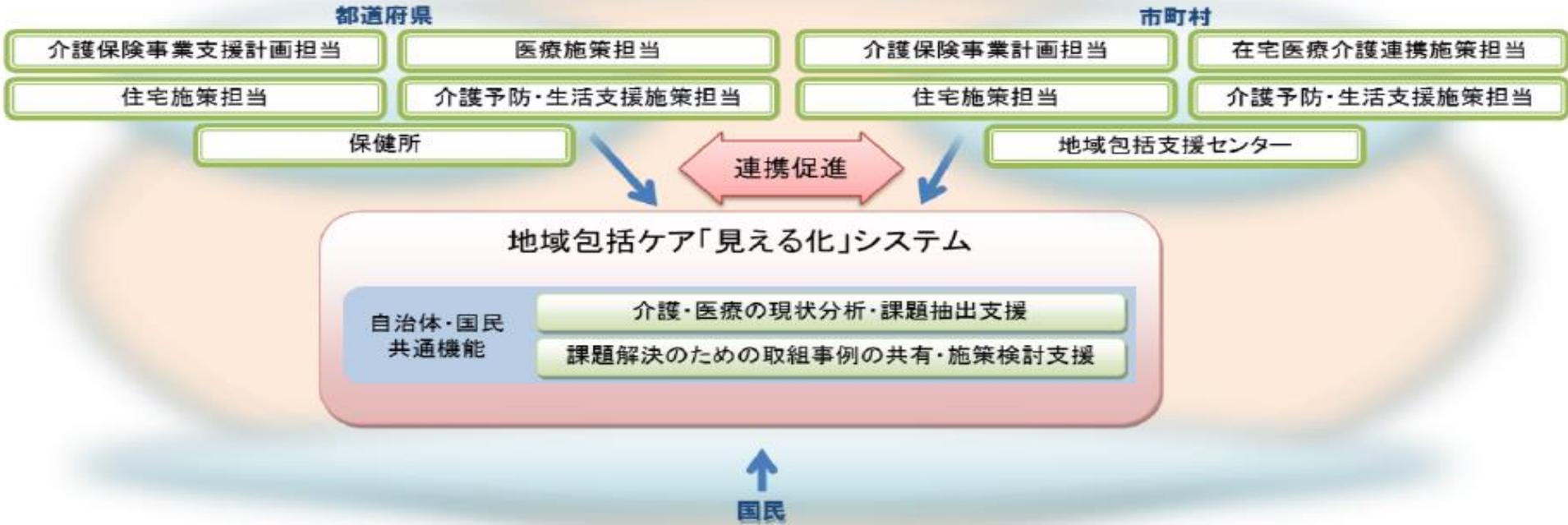


地域包括ケア「見える化」システムから見た板橋区の特徴について

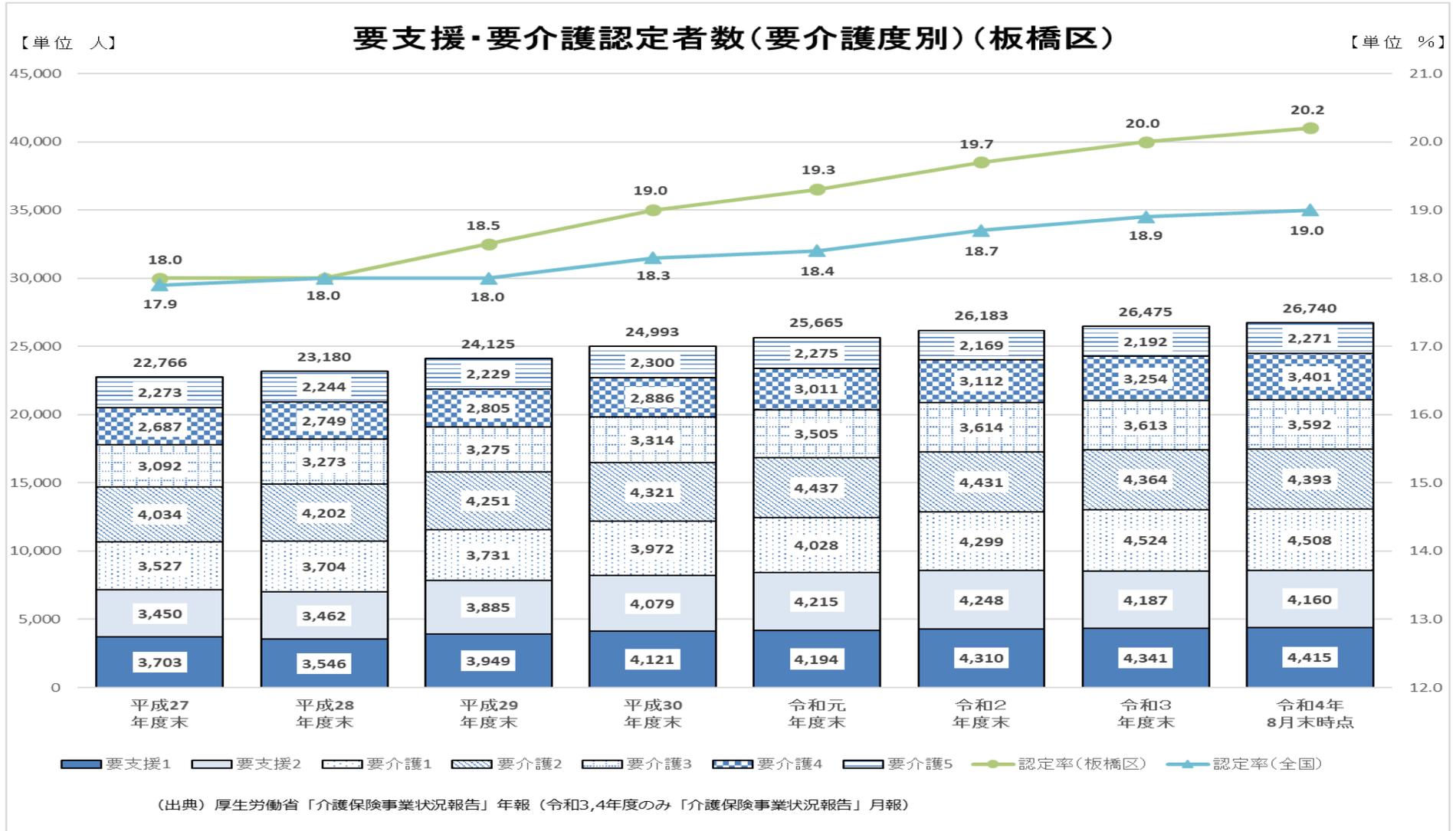
1 地域包括ケア「見える化」システムとは

地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムである。介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されている。



2 要介護認定者数・要介護認定率の推移

板橋区の要介護認定者数は増加傾向にあり、その推移を要介護（要支援）別にみると、直近では要介護4以上の認定者数が増加傾向にある。また、認定率については、平成29年度以降全国平均値を上回っており、その差は拡大傾向にある。

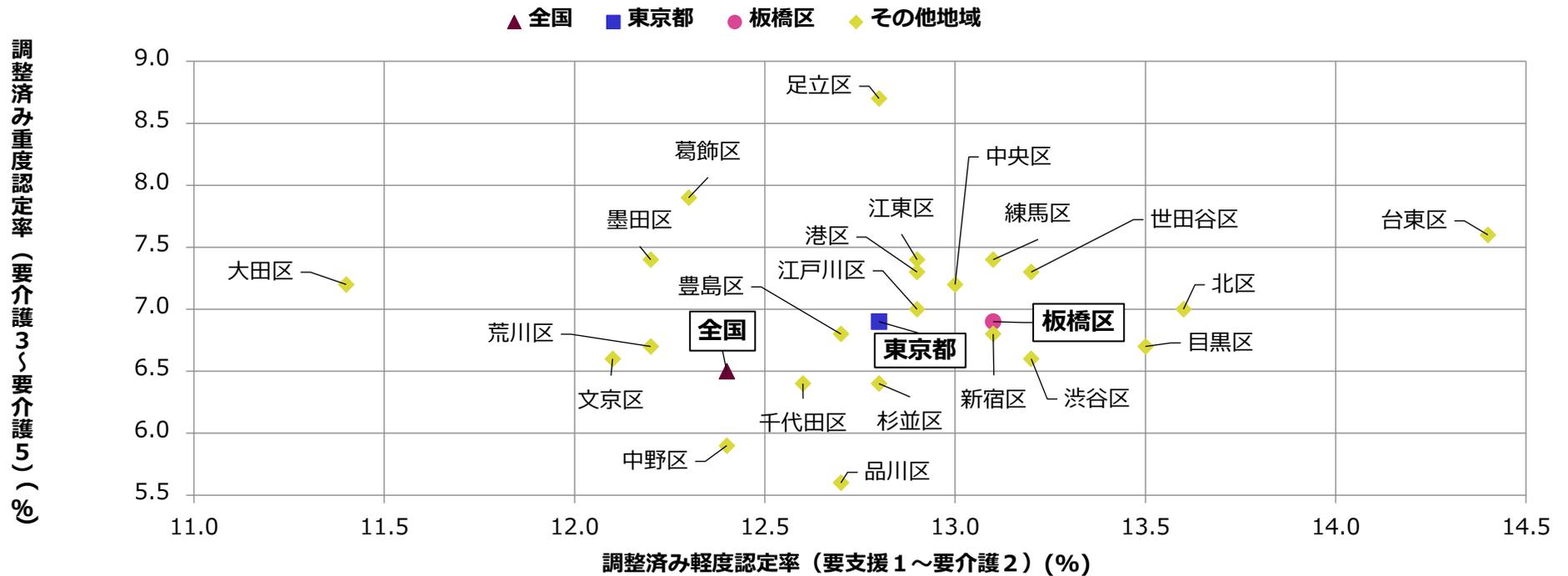


3 調整済み認定率（※）の他区との比較

板橋区の調整済み認定率は、全国平均、東京都平均と比較して高くなっている。内訳をみると、軽度認定率（要支援1～要介護2）は、23区中6番目に位置しているが、重度認定率（要介護3～5）は13番目に位置している。

（※）調整済み認定率とは、認定率の大小に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢別人口構成」の影響を除外した認定率を意味します。一般的に、後期高齢者の認定率は、前期高齢者よりも高くなるとされており、第1号被保険者の性・年齢別人口構成が、どの地域においても、ある地域または全国平均の特定の時点と同じようになるよう調整することで、地域間・時系列での比較がしやすくなります。

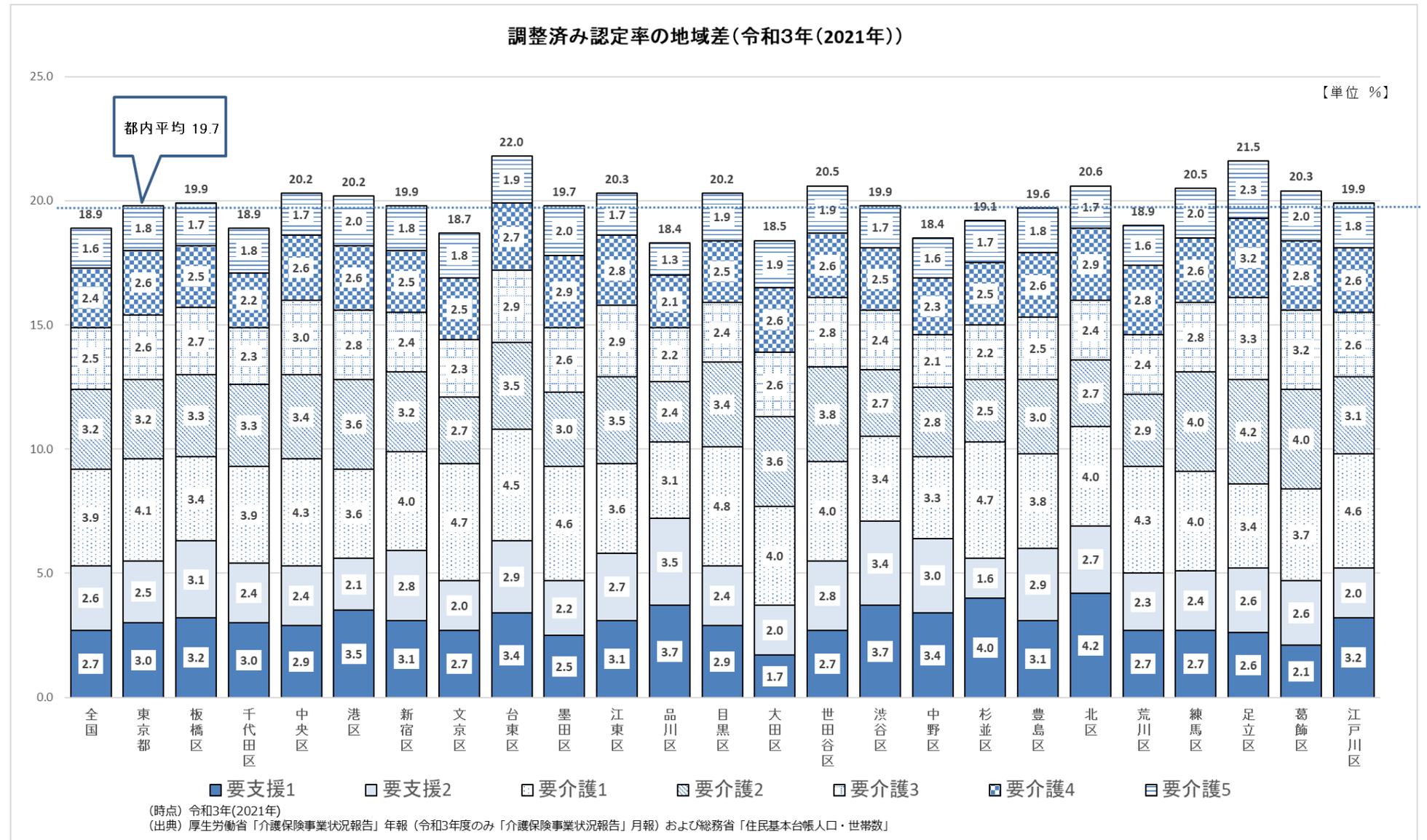
調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布（令和3年(2021年)）



（時点）令和3年(2021年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

○板橋区の調整済み認定率を介護度別にみると、全体では23区中11番目に位置しているが、要支援1及び要支援2の認定率は、全国平均、東京都平均より高くなっている。

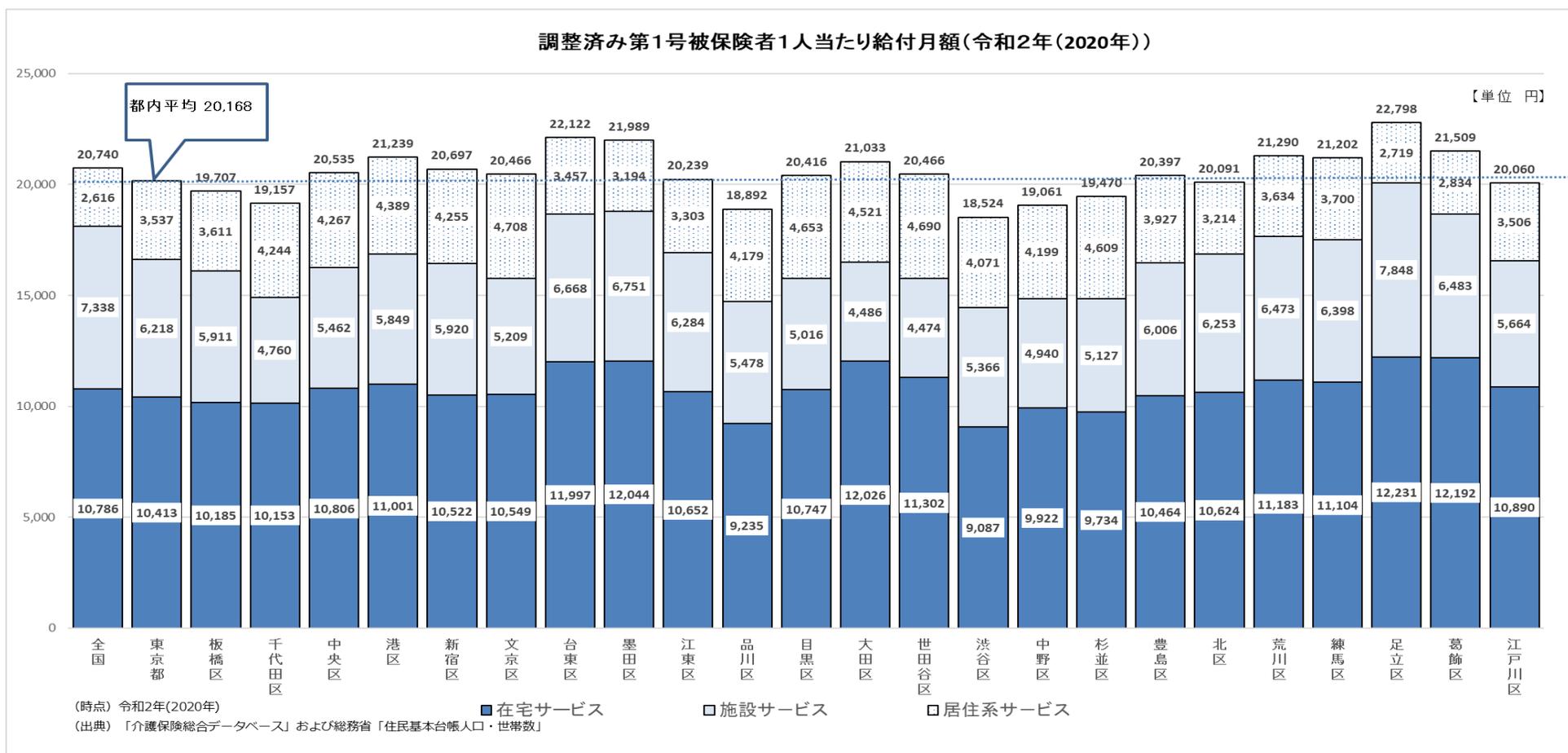


4 調整済み第1号被保険者1人当たり給付月額（※）

板橋区の調整済み第1号被保険者1人あたりの給付月額は、全国平均、東京都平均と比較して低く、特別区の中でも18番目に位置している。

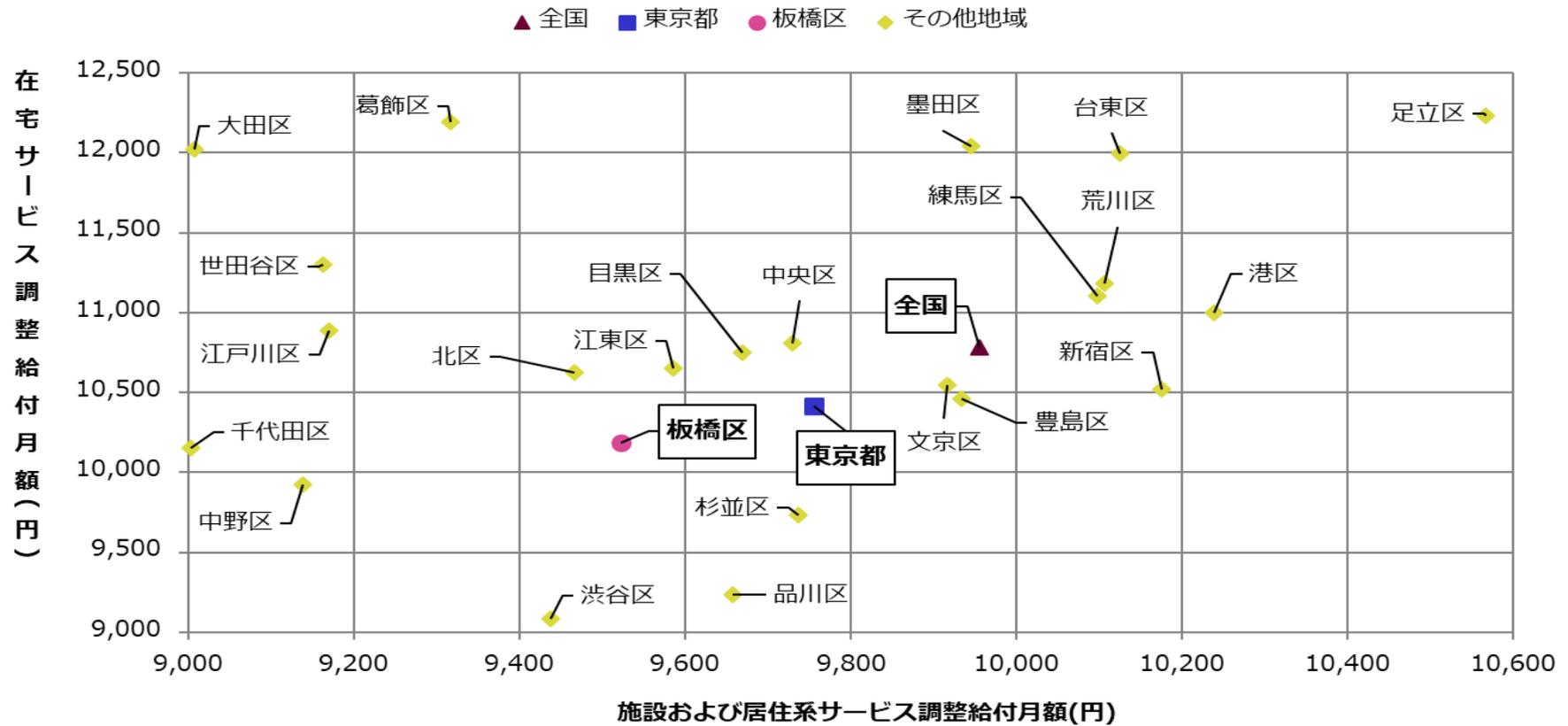
（※）調整済み給付費（第1号被保険者1人当たり給付月額）とは、給付費の大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢別人口構成」と「地域区分別単価」の2つの影響を除外した給付費を意味します。

一般的に、後期高齢者1人当たりの給付費は、前期高齢者の給付費よりも高くなるとされています。第1号被保険者の性・年齢別人口構成の調整に加えて、さらに単位数に一律10円を乗じることにより影響を除外し、地域間での比較がしやすくなります。



○板橋区のサービス別調整済み第1号被保険者の1人当たりの給付月額の内訳をみると、在宅サービス・施設および居住系サービスともに、全国平均、東京都平均より低くなっている。

調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス・施設および居住系サービス）（令和2年(2020年)）

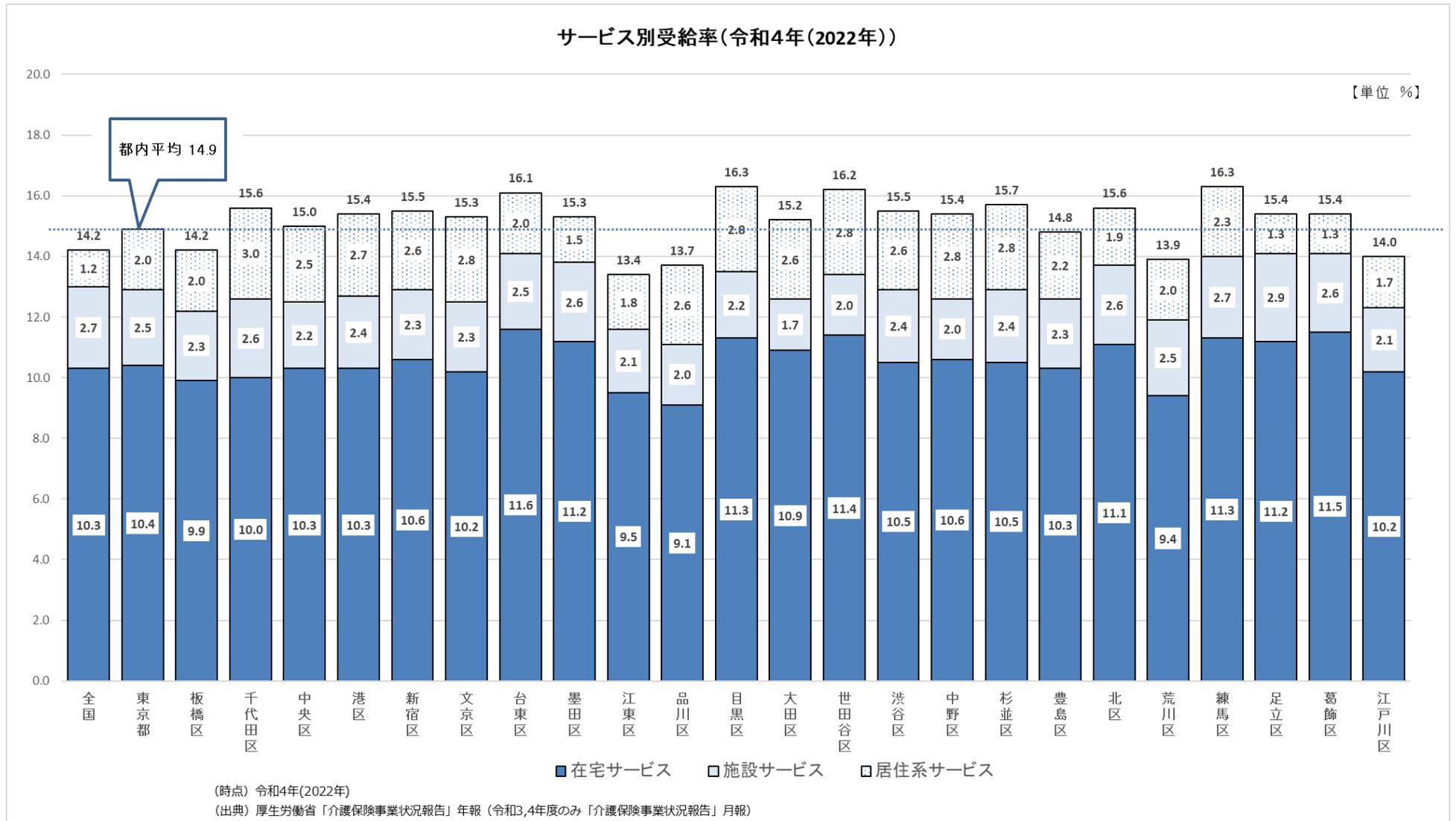


(時点) 令和2年(2020年)

(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

5 受給率

板橋区における介護保険サービスの受給率は、東京都平均として比較して低く、23区内で比較すると、在宅サービスは20番目、居住系サービスは16番目、施設サービスは12番目に位置している。



○板橋区のサービス別受給率の分布をみると、在宅サービスは全国平均、東京都平均より低く、施設および居住系サービスは、全国平均より高く、東京都平均より低くなっている。

